

平成29年6月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美

『EUにおける再処理施設・高速炉の廃止措置実態調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。本連盟では、この度、東海再処理施設や高速増殖炉もんじゅの廃止措置を円滑に合理的に実施していくことや、今後のわが国の通常炉の廃炉や放射性廃棄物処理処分を合理的に行うことを主眼として、EU諸国の再処理施設や高速炉の廃止措置の実態について、第1次第2次EU諸国の調査、第3次米国調査、第4次EU諸国調査に引き続き、林道 寛 団長を中心に、第5次「EUにおける再処理施設・高速炉の廃止措置実態調査団」を企画・派遣致します。

欧州においては、原子力発電所の廃止措置のみならず、再処理施設や高速炉の廃止措置その使命が終了、廃止措置段階にある施設が多くあります。再処理施設は放射性物質がシステム全体に広がっている事、高速炉は冷却材としてナトリウムを使用していることが通常炉の廃止措置とは大きく異なっています。これらの施設の廃止措置を行うにあたり、欧州諸国では解体技術をはじめとして、多くの工夫がみられます。また、これらの技術は通常炉の廃止措置への適用も可能です。

趣旨・調査項目、日程等につきましては別添の参加要項をご覧頂き、ご参加をお願い申し上げます。又、本調査にあたり、ご希望される質問事項についてご意見ご助言を事務局までお寄せ下さいます様お願い申し上げます。

ご参加頂ける場合は別紙参加申込書に必要事項をご記入の上平成29年7月21日(金)までに下記、一般社団法人日本技術者連盟あてFAX(03-6229-1940)もしくはE-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めて日本技術者連盟よりご案内申し上げます。

敬具



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : <http://www.jef-site.or.jp>

<http://www.wkx21c.org>

『EUにおける再処理施設・高速炉の廃炉実態調査団』

参加要項

1. テーマ : 『EUにおける再処理施設・高速炉の廃止措置実態調査団』

2. 期間 : 2017年9月17日(日)～9月24日(日) 8日間

3. 主催 : 一般社団法人 日本技術者連盟 (J E F)

4. 団 長 : 林道 寛 氏 前国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
バックエンド研究開発部門
放射性廃棄物対策・埋設事業統括部
一般財団法人エネルギー総合工学研究所

NUPEC (原子力センター) 特任参事

■略歴



1978年 動力炉・核燃料開発事業団 入社
1994年 動力炉開発推進本部
もんじゅ計画管理課長
1998年 (財)デコミッショニング研究協会
情報管理部次長
2003年 核燃料サイクル開発機構 経営企画本部
バックエンド推進部 次長
2005年 (独)日本原子力研究開発機構
バックエンド推進部門 副部門長
2008年 同部門 部門長

《研究分野》
廃止措置技術、低レベル放射性廃棄物処理処分

《社会的活動・学会活動》

2004年- OECD/NEA 各作業部会の委員を歴任
2008年-2010年 IAEA International Decommissioning
Network (IDN) 委員
2012年- IAEA Decommissioning Technology Update
技術報告書作成メンバー
2012年- IAEA Decommissioning Database System
(Media WIKI) 作成メンバー
2012年-2014年 日本原子力学会 東電福島第一発電所事故
調査委員会委員
2014年-2016年 OECD/NEA Expert Group on Fukushima Waste
Management and Decommissioning R&D 副議長
2014年- 日本原子力学会 東電福島第一発電所
廃炉対策委員会委員 委員
2015年-2017年 IAEA The development of Training Course
Material on Decommissioning作成メンバー

5. 趣 旨 :

欧州においては、原子力発電所の廃止措置のみならず、再処理施設や高速炉の廃止措置も、その使命が終了、廃止措置段階にある施設が多くあります。

再処理施設は放射性物質がシステム全体に広がっている事、高速炉は冷却材としてナトリウムを使用していることが通常炉の廃止措置とは大きく異なっています。これらの施設の廃止措置を行うにあたり欧州諸国では解体技術をはじめとして、多くの工夫が見られます。また、これらの技術は通常炉の廃止措置への適用も可能であります。

東海再処理施設や高速増殖炉もんじゅの廃止措置を円滑に合理的に実施していくことや、今後のわが国の通常炉の廃炉や放射性廃棄物処理処分を合理的に行うことを主眼として、EU諸国の再処理施設や高速炉の廃止措置の実態について下記のような項目を中心として調査を行います。

6. 調査項目 :

(1)廃止措置や放射性廃棄物管理の実態と技術開発

①再処理施設

- ・ 廃止措置計画 (計画書や工程)
- ・ 系統除染 (解体前)
- ・ 解体技術 (技術開発を含む)
- ・ 廃棄物貯蔵
- ・ 廃棄物処分 (ライセンス・処分場)
- ・ 廃止措置資金

②高速炉

- ・ Naの処理・処分
- ・ 廃止措置計画(計画書や工程)
- ・ 解体技術 (技術開発を含む)
- ・ 解体後の機器・配管に付着したNs除染方法
- ・ 廃棄物処理 (除染技術を含む)
- ・ 廃棄物貯蔵
- ・ 棄物処分 (ライセンス・処分場)
- ・ 廃止措置資金

(2)理解活動と地域の活性化

- ・ 地元企業の参画状況
- ・ 利害関係者への理解活動の実態と利害関係者の関わり
- ・ 広報活動

7. 訪問先及び概要：

* 訪問先は日程上、下記の4つのうち、3つを選定する事とします。また、都合により変更する場合もございますので、予めご了承ください。

(1)フランス CEA マルクール

概要：CEAマルクールサイトでは廃止措置を実施中の再処理施設UP-1やAPM、高速炉フェニックスがありこれらの廃止措置に対応するための遠隔技術やバーチャル技術の開発が行われており、モックアップ施設を利用したこれらの技術の試験も実施されている。また、解体物の処理技術や処分に向けた対応も、その技術開発も含めて行われており、CEAの高速炉や再処理施設及び関連する技術開発活動を幅広く学ぶことが出来る。

(2)フランス EDF スーパーフェニックス

概要：高速増殖実証炉のスーパーフェニックスは、1997年に運転停止、翌年に廃止措置計画が認可され、1999年から周辺設備の解体撤去が開始された。2007年から冷却材であるNaの抜き取りが開始された。今年度から2030年まで原子炉周りの解体が行われる予定となっている。EDFの高速増殖炉に関する技術開発を含めた取り組みを学ぶことが出来る。

(3)英国 NDA セラフィールドサイト

概要：セラフィールドはNDAの最大のサイトであり、原子力に関する多くの施設がある。このうち再処理施設については、廃止措置中のB205、また2005年以降配管からの漏洩により運転停止していたソープも2018年に運転を完全停止し、廃止措置段階を迎えることになっている。セラフィールドでは、レーザーとγカメラを用いて、施設の解体のための3次元可視化技術の開発や解体により発生する廃棄物の処理処分技術の開発も多く実施し、実務に適用している。これらの技術開発を含めてNDAの再処理施設の廃止措置の取り組みを学ぶことが出来る。

(以下、訪問先候補)

(4)英国 NDA ドンレイ研究所

概要：ドンレイは高速炉サイクル技術開発を実施してきた研究所であり、現在全ての施設(高速炉、再処理、MOX燃料製造、ホットラボ等)の廃止措置と廃棄物処理処分及びサイト修復作業が、その技術開発も含めて行われている。遠隔解体技術などを含めて幅広く高速炉や再処理施設の廃止措置と解体により発生する放射性廃棄物の処理処分について多くの知見を有している。

8. 募集人員：15名 (最少催行人数10名)

9. 参加費：¥980,000。(税別)

※ 現地からご参加ご希望される場合には、総合事務局までお問い合わせ下さい。

10. 通訳者：ベテラン適任者

11. 添乗員：添乗員は全行程同行いたします。

12. ホテル：一人部屋

13. 旅行主催：万達旅運株式会社ワンダートラベル

14. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

(〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL: 03-6229-1950)

15. 申込方法：添付申込書に必要事項記入の上、**2017年7月21日(金)**までにFAX (03-6229-1940) 又はE-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にてお申込み下さい。申込み受付後、旅行主催である万達旅運株式会社(ワンダートラベル)より手続きに関するご連絡をさせていただきます。

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。

16. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : <http://www.jef-site.or.jp>

<http://www.wkx21c.org>

『EUにおける再処理施設・高速炉の廃止措置実態調査団』
2017年9月17日(日)～9月24日(日)8日間 日程表

*交通手段その他、都合により変更する場合がございますので、予め、ご了承下さい。飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事			
1	9/17 (日)	東京(羽田/HND)発		夜	羽田空港国際線ロビー集合 (全員羽田集合)	機			
				夜					
2	9/18 (月)	欧州内空港着・発	専用バス	朝	航空便にて欧州内乗継にてマルセイユへ	機			
		マルセイユ(MRS)着		午前			着後、ホテルへ	昼	○
		マルセイユ滞在		午後			調査団事前打ち合わせ、自己研修	夕	○
						マルセイユ泊			
3	9/19 (火)	マルセイユ発	TGV	朝	CEA MARCOULE 訪問	朝	○		
		マルクール		夕		昼	○		
		アウ・ニオン着		夕刻		夕	○		
		アウ・ニオン発		夕刻					
		リヨン着		夜					
						リヨン泊			
4	9/20 (水)	リヨン発	専用バス	朝	SUPER-PHENIX 原子力発電所 訪問	朝	○		
		クレイ・マルビル		夕		昼	○		
		リヨン着		夕刻		夕	○		
						リヨン泊			
5	9/21 (木)	リヨン(LYS)発	航空機	午前	航空便にて乗継マンチェスターへ	朝	○		
		欧州内空港着・発		午前		昼	○		
		マンチェスター(MAN)着	午後	夕		○			
		マンチェスター発	午後						
シースケール着	専用バス	午後	専用バスにてセラフィールド隣接のシースケールへ						
						シースケール泊			
6	9/22 (金)	マンチェスター着	専用バス	朝	NDA SELLAFIELD 訪問	朝	○		
		セラフィールド発		夕刻		昼	○		
		マンチェスター着		夕刻		夕	○		
						マンチェスター泊			
7	9/23 (土)	マンチェスター(MAN)発	航空機	午前	航空便にて欧州内乗継にて帰国の途へ (成田・関空へ)	機内食			
		欧州内空港着・発		午前					
8	9/24 (日)	成田・関空着	航空機	午後					
				朝					

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、添乗員、通訳(一部同行)費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- ・ 現地手配費用
- ・ 打合せ会/現地配布資料代 他
- ・ 現地事前打合せ出張諸費用

III) 企画・運營業務費

- ・ 企画運營業務費

その他

- ・ 参加費は、2017年6月5日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したものです。ご出発前に参加人員に変更のあった場合には、参加費用が変更になる場合もございますので予め、ご了承下さい。
- ・ 尚、お申込み後、諸般の事情でご参加をお取り消しされる場合につきましては、運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

◎ 旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)

- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで : 費用の50%
- ・ **実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。**

◎ 諸般の事情でご参加をお取り消しされる場合につきましては、

企画・運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人日本プライバシー認証機構 会長/ 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男 内藤 香	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 公益財団法人核物質管理センター 前理事長/ 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 森 和義	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph. D. 有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
監事	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木 宜彦	元一般財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆 荒井 利治 宅間 正夫	元一般財団法人経済産業調査会 理事長 元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長 元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎 小川 順子 金氏 顯 河原 暉 佐川 渉 関村 直人 多田 伸雄 尾野 昌之 新田 隆司 藤井 靖彦 宮野 廣 諸葛 宗男	一般財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学) 東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長 前一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事 元一般社団法人日本原子力学会 会長 前一般社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士 東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士 一般社団法人日本電機工業会 原子力部長 電気事業連合会 原子力部長 元 日本原子力発電株式会社 常務取締役 東京工業大学名誉教授 工学博士 特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 工学博士 科学技術コンシェルジュ/NPO法人パブリック・アウトリーチ (PONPO)/ 元 東京大学公共政策大学院 特任教授

『国際原子力発電機器・部品コンソーシアム』委員会

委員長	篤見 禎彦	元関西電力株式会社 代表取締役副社長 元日本原子力発電株式会社 代表取締役社長
委員	松井 一秋 尾本 彰 諸葛 宗男 内藤 香	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 主席研究員 東京工業大学 特任教授 工学博士 科学技術コンシェルジュ NPO法人パブリック・アウトリーチ(PONPO) 上席研究員 元東京大学公共政策大学院 特任教授 元公益財団法人核物質管理センター理事長 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
顧問	佐々木 宜彦 野々内 隆 宮野 廣 榎本 聡明 秋元 勇巳 ワザハバ 窪田 秀雄	一般社団法人日本技術者連盟 国際原子力発電技術移転機構 委員長 元通商産業省原子力安全・保安院 院長 元通商産業省資源エネルギー庁 長官 元一般財団法人経済産業調査会 理事長 NPO法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 工学博士 元東京電力株式会社 代表取締役副社長 工学博士 元一般財団法人日本原子力文化財団 理事長 理学博士 日本テピア株式会社 テピア総合研究所 主席研究員

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation (JEF))
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))
〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F
TEL : 03-6229-1946 / 03-6229-1950

※ お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又はE-mail : gyomu1@jef-site.or.jpでお送り下さい。

『EUにおける再処理施設・高速炉の廃止措置実態調査団』
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

 訪問先に持参する資料 有 (内容:) 無

フリガナ				
会社名・団体名		顔写真	メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください	
英文名			●4cm×3cm ●脱帽・正面・背景無地 ●パスポート顔写真の スキャンコピーでも可	
所属名/役職名				
フリガナ		生年月日	西暦	年 月 日
参加者氏名				
パスポート記載名 (ローマ字)		学位		
E-mail		携帯電話番号		
勤務先	〒			
ご住所	〒			
電話番号		FAX番号		
ご自宅	〒			
ご住所	〒			
電話番号				
フリガナ				
担当責任者名		印		
所属名/役職名				
電話番号/E-mail				
旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)				
① はい	<input type="checkbox"/> 旅券番号:	有効期限: 西暦	年	月 日
② いいえ	<input type="checkbox"/> 現在申請中	<input type="checkbox"/> 旅券の作成代行を依頼する。(有料)	<input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する	
喫煙の習慣	有・無	マイルージをお持ち の方は番号を記載し て下さい		
通信欄 (ご質問・ご希望 等お書き下さい)				

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1.個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2.個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3.個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950

FAX: 03-6229-1940

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル (担当: 梶山 満)

TEL: 03-5157-2207

FAX: 03-5157-2208